

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成30年11月29日 (2018.11.29)

【公開番号】特開2018-160471(P2018-160471A)

【公開日】平成30年10月11日 (2018.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2018-039

【出願番号】特願2018-132450(P2018-132450)

【国際特許分類】

H 0 1 R 13/631 (2006.01)

H 0 1 R 12/91 (2011.01)

【F I】

H 0 1 R 13/631

H 0 1 R 12/91

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月18日 (2018.10.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

他のコネクタと嵌合して、電氣的に導通する複数のコンタクトを有するコネクタであって、

枠状である固定インシュレータと、

前記固定インシュレータの内側に配置され、複数の前記コンタクトにより前記固定インシュレータと前記コンタクトの弾性変形部を介して連結され、前記弾性変形部の弾性変形により少なくとも前記他のコネクタと嵌合する嵌合方向に垂直な方向に可動可能である可動インシュレータと、

を有し、

前記他のコネクタと嵌合する嵌合方向において、前記コンタクトの嵌合側の端部は、前記固定インシュレータの嵌合側の端部よりも内側に配置される

コネクタ。

【請求項 2】

前記可動インシュレータは、複数の前記コンタクトが配列される方向であるコンタクト配列方向の中央部よりも両端の方が、前記他のコネクタと嵌合する嵌合方向に垂直な平面内で複数の前記コンタクトが配列される方向であるコンタクト配列方向に直交する幅方向に幅広く形成されている請求項 1 に記載のコネクタ。

【請求項 3】

前記固定インシュレータは、前記他のコネクタと嵌合する嵌合方向に前記固定インシュレータのみから形成される嵌合面を有している請求項 1 又は請求項 2 に記載のコネクタ。

【請求項 4】

前記嵌合面は、同一平面上に設けられ、かつ平坦である請求項 3 に記載のコネクタ。

【請求項 5】

前記嵌合面は、前記固定インシュレータの全周に亘って連続して形成され、かつ平坦である請求項 3 又は請求項 4 に記載のコネクタ。

【請求項 6】

前記可動インシュレータは、前記他のコネクタと嵌合する面側とは反対側の底面が、前

記他のコネクタと嵌合する嵌合方向に垂直な方向の中央から端部に至るにつれて、前記底面に対向する仮想平面から離れる形状である請求項 1 から請求項 5 のいずれか一項に記載のコネクタ。